

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：2024/3/24  
事業所名：放課後等デイサービス まんまる放課後等デイサービス

|          | チェック項目                                                       | はい | いいえ | わからない | 課題や工夫してる点                                                                                                                 |
|----------|--------------------------------------------------------------|----|-----|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 環境・体制整備  | ①利用定員に対して指導訓練室等スペースとの関係は適切であるか                               | 10 |     | 1     | ・軽い運動のできる活動室、スタディ、リラックス、キッチン、アトリエ等利用できる部屋が目的別に複数あり自由に選べるため利用人数が偏る事はありません。1部屋の利用者人数が多く密集した場合には、数人に他の部屋での遊びも提案して参ります。       |
|          | ②職員の配置数は適切であるか                                               | 9  |     | 2     | ・県の人員配置以上の職員が配置されていますが活動の部屋が複数あるため、職員がそれぞれの部屋に居るように配置に気を配っています。                                                           |
|          | ③事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか                           | 6  | 3   | 2     | ・車いす対応の車両が用意されています。酸素ボンベを使用している児童に対しては玄関入り口とアトリエールームへの段差が課題です。                                                            |
| 業務改善     | ④業務改善を進めるための目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか                          | 9  |     | 2     | ・支援会議や職員同士の話し合い、職員研修の時間を定期的にとり、支援や目標設定についての振り返りを行っています。                                                                   |
|          | ⑤保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか     | 8  |     | 3     | 昨年度の希望にあった、兄弟利用、保護者会など実施することができました。今後も保護者からの意見などを把握し改善できるよう話し合いをとって参ります。                                                  |
|          | ⑥この自己評価の結果を、利用者も閲覧できるようシステム上で公開しているか                         | 3  |     | 8     | ・HUGの活動記録にて公開しております。                                                                                                      |
|          | ⑦職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか                                | 11 |     |       | ・研修委員会を発足し年間の予定に研修を複数組み込んでいます。今年度は他事業所などの訪問見学も企画、実施しました。職員の資質向上を行うための研修機会は、ZOOMや個々の時間に合わせて参加出来る動画などを設けています。               |
| 適切な支援の提供 | ⑧アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 11 |     |       | ・現場の支援員がアセスメントを取り、それを個別支援計画に反映し、日々の支援に生かしています。保護者の方からのニーズをお聞きするため、今後も積極的に親子イベントなど保護者と話せるような場を設けて参ります。                     |
|          | ⑨子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか                   | 8  |     | 3     | ・国の指定する5領域に対するアセスメントを行っています。                                                                                              |
|          | ⑩活動プログラムの立案をチームで行っているか                                       | 10 |     | 1     | ・イベント委員を中心に意見交換をし、支援員全員で決定しています。日々の活動も子どもに合わせたプログラムを提供できるよう、ミーティングを毎日行っています。                                              |
|          | ⑪活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか                                     | 9  |     | 2     | ・季節に合わせた活動、ゲーム制作や、行事制作、外活動など変えるようにしています。日曜日プログラムに関しては様々な野外活動、社会と繋がりを持つための仕事体験や音楽あそび、または料理に取り組んだり、中高生へのパソコン、SSTなども実施しています。 |
|          | ⑫平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか                         | 8  | 1   | 2     | 休日や長期休暇に関しては、個々の持つ発達特性や年齢の設定を設け、活動内容が本人にとって無理のないよう支援を行なっています。                                                             |
|          | ⑬子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか           | 10 |     | 1     | ・集団放デイなので、ここではほとんど集団を活かした活動になりますが、個別対応が必要と判断されれば個別での活動を職員と行っています。必要であれば近隣の個別放デイ等も勧めることもあります。                              |
|          | ⑭支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか             | 10 |     | 1     | ・毎日サービス提供開始前にミーティングの時間を設け、前日の振り返りやその日の注意点を共有しています。                                                                        |
|          | ⑮支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか        | 8  |     | 3     | ・直ぐに確認が必要な事項については当日支援後、その他は翌日のミーティングで共有・会議しています。                                                                          |
|          | ⑯日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか                    | 11 |     |       | ・支援の振り返りミーティングの際には議事録を取り、支援に生かしています。                                                                                      |
|          | ⑰定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか                  | 7  |     | 4     | ・5領域に対応し、モニタリングを実施しています。                                                                                                  |
|          | ⑱ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか                            | 6  |     | 5     | ・自立支援、地域交流、創作活動など様々な活動を通し、アプローチを行っています。                                                                                   |

|              |                                                                                  |    |   |   |                                                                                                                                     |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------|----|---|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | ①⑨学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか         | 10 |   | 1 | ・送迎の管理に関してダブルチェックを行う等しています。                                                                                                         |
|              | ②就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか                         | 3  | 3 | 5 | ・就学前の施設とは直接的なやり取りは中々とれないことが課題です。保護者の方から就学前に利用していた施設の計画や、そこでの経過を貰うようにしています。                                                          |
|              | ③学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか              | 4  |   | 7 | ・本人ができることを共有し、スムーズに就労移行ができるよう書類を作成しました。地域の施設を見学させてもらうなど、関わりを持っています。                                                                 |
|              | ④児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                                   | 3  | 2 | 6 | ・なかなか専門機関との関わりは持てないが、研修などでできれば受けていきたいです。                                                                                            |
|              | ⑤放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか                                           | 6  | 4 | 1 | ・外でのプログラムで、公園や博物館・児童館などの施設、イベントやうりんこくらぶとの交流などで機会を持つことができています。                                                                       |
|              | ⑥日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか                                 | 11 |   |   | ・HUGシステムやSNSを通じて写真で子どもの状況を伝えるようにしています。保護者会を実施し、支援者と保護者の共通理解を図っています。また、お迎えの際にお子さんの状況について保護者と話すようにしています。                              |
|              | ⑦保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか                                | 8  | 1 | 2 | ・保護者向け座談会や、保護者向けの食育講座、親子イベントなどを開催しています。                                                                                             |
| 保護者への説明責任等   | ⑧運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか                                               | 9  |   | 2 | ・契約時または質問があった時点で丁寧に対応し、また職員全員が答えられるよう対応しています。                                                                                       |
|              | ⑨保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか                                       | 10 |   | 1 | ・保護者との信頼関係を意識して悩みがある場合はゆっくりと相談できる時間が設けられている                                                                                         |
|              | ⑩保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか                                                 | 8  |   | 3 | ・保護者会や座談会、イベントなど保護者同士で交流、連携が取れる場を提供しています。今後も保護者参加のイベントなど企画していきます。                                                                   |
|              | ⑪子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか             | 11 |   |   | ・何があった場合は迅速に全職員に共有し、適切な対応を都度行っています。                                                                                                 |
|              | ⑫定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか                               | 11 |   |   | ・施設での掲示、HUGからのお知らせ、インスタでの発信など保護者が良くわかるようにしています。                                                                                     |
|              | ⑬個人情報に十分注意しているか                                                                  | 11 |   |   | ・個人情報の入っているロッカーの施錠を徹底し、他の利用者について利用者に聞かれても答えないようにしています。                                                                              |
|              | ⑭障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか                                            | 11 |   |   | ・日々の送迎時には保護者との会話を大切にしています。お子さんに対しては何を伝えたいのか理解するまで様々な方法で聞くようにしています。長期休暇プログラム等、事前に利用予定の日のプログラムを写真・タイムスケジュール付きで送り、家族で確認してもらうよう工夫しています。 |
| 非常時の対応       | ⑮事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか                                             | 8  | 1 | 2 | ・夏祭りや周年イベント等、利用者以外も来てもらえる行事を開催するほか、地域施設でのお仕事体験等での関わりを作っています。                                                                        |
|              | ⑯緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか                                | 10 |   | 1 | ・入口2箇所に掲示しています。次年度は緊急時に備えて保護者も参加できる非常時対策や避難訓練など計画していきます。                                                                            |
|              | ⑰非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか                                             | 10 |   | 1 | ・利用者含めた訓練を年に2回と、職員のみでのシミュレーションをどちらも取り組んでいます。                                                                                        |
|              | ⑱虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか                                             | 11 |   |   | ・虐待防止、身体拘束適正化委員を設置し、国から指定された虐待防止の研修を年間行事予定に組み込んでいます。                                                                                |
|              | ⑲どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 8  |   | 3 | ・保護者に説明し了解を得た上で、個別支援計画をに身体拘束について記載することもあります。虐待防止、身体拘束適正化委員を設置し、研修を実施しています。                                                          |
|              | ⑳食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか                                           | 9  | 1 | 1 | ・保護者から契約時に、アレルギーについての情報共有を必ずしてもらい、共有・対応しています。                                                                                       |
|              | ㉑ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか                                                      | 11 |   |   | ・ヒヤリハットを記録するファイルを作成し、必ず職員会議を開催。再発防止に努めています。                                                                                         |